

平成 28 年度アクションプランの実施内容報告

平成 29 年 2 月 8 日

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H27年推進委員会の主要意見	H28実施内容	H28の総括・ポイント
1・美しいふるさとづくり	Ⅰ・水源地域の景観形成	1. 水源地域の景観向上	①	早期	河川と道路の景観保全活動		1. 生活拠点施設からうぐいす茶屋間での草刈りやゴミ拾い(6/4、8/6) 2. 企業CSR(11/5、26団体、112名) 3. 企業CSRと合わせてクリーンウォークを実施 4. 獅子地区で草刈り研修	●除草と企業CSRの活動は定着し、年々参加団体が増えており、島根県、雲南市、さくらおろちなど関連機関も参加。 ●草刈り研修会は、田舎体験での大学生との交流プログラムの一部に組み込み実施した。 ●今年度はイベント時、コスモス畑の片隅にヤギを持込んだ結果、子供連れが共に写真を撮るなど、好評であったことから、継続の可能性は高い。 ●ライトアップは既に定着し、紅葉の方は規模も少しずつ大きくなっている。今後は、集客の仕掛け、話題づくりとしてより一層、活用した方がよい。
				早期	クリーンウォーク(景観保全活動に含む)			
				早期	草刈り研修会(景観保全活動に含む)			
			③	早期	町有林による景観美化		—	
		2. 牧歌的な風景づくり	②	中期	家畜の放牧	・乗馬体験については、訓練を受けて山を歩くといったことであればサラブレッドではなく、アメリカのインディアンの馬を輸入するらしい。 ・金城町のウエスタンライディングパークでは、そのような馬が40頭ぐらいいる。	1. コスモス祭にてヤギの持込み(10/9、2頭)	
		3. 四季の彩りフラワーパレー		中期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	・菜の花については、花が咲く時期が意外と寒いので、それを見に来る人はいない。菜の花で成功している地域は、和歌山とか大概暖かい所である。この辺りでも神戸川の護岸など、種が落ちて生えた所はかなりきれいに咲く。菜の花は、秋には大きくしておかないと春に大きな花が咲かない。田んぼでつくるのはポピー、コスモス、そして菜の花になるが、苗づくりしないと間に合わない。	—	
				中期	フラワーパレーに山野草鑑賞エリアを整備		—	
			④	早期	彩りの森の紅葉をライトアップ		1. 紅葉のライトアップ(彩りの森／うぐいす茶屋駐車場シンボルツリー) 2. 紅葉祭りの開催(11/5・6)	
			⑤	追加	志津見ダムライトアップ		1. 彩りの森ライトアップと連携して継続実施(11/5～31)	
				中期	一軒一鉢運動を展開		—	
	Ⅱ. 自然環境の保全活用	4. 神戸川エコロジカルネットワーク	⑥	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会		1. 自然体験イベント(7/24、33名)(ダム見学、やまめのつかみ取り) 2. 飯南高校による森の学校サマーツアー(8/6～8、21名)(ダム見学、そば打ち体験、農業体験等)	●子供向けの環境学習について、昨年度までの水源地域環境活動推進事業なくなり規模が縮小したが、重要な取組みなので、今後も内容など工夫しながら、継続する。 ●水辺で遊べる場づくりの関係者との「意見交換会」は継続して行う。
			⑦	早期	水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)		1. 意見交換会(“水辺で乾杯”後)(7/7)	
2・明るく元気づけ豊かな	Ⅲ・水源地域の活性化	5. 神戸川「川の駅」づくり	⑧	早期	青空市の活性化		1. うぐいす茶屋販売コーナーの維持(通年販売) 2. 加工品の種類の充実	●ポピー祭でお披露目したダム貯蔵酒”治酔”は完売した。 ●ダム貯蔵酒は昨年度から展開を継続し、今後、2年間の試行期間を経て、都市・地域再生等利用区域の指定を行い、定着化を目指す。 ●ダムカレーについては、「志津見ダムをモチーフにしたカレー」としてはデザインや制作コスト、手間などの面で模索中で、コスモス祭やうぐいす茶屋での試験販売を行うなどしてダムカレーの販売に向けて引き続き取り組む。 ●志津見地区の様々な樹木を移植した神戸の森は活用できていないので、花など植えて有効活用できるように今後検討する。 ●地域おこし協力隊により、下記のメニューを開発した。 ・豆腐ムース(うぐいす茶屋で販売中) ・梅干し(うぐいす茶屋で販売中) ・米粉サブレ(うぐいす茶屋で販売中) ・おから味噌(仕込み中)
				中期	憩いの場の充実	・現状のもみじの植栽は素晴らしいものになってきており、当初は「紅葉が一番！」ということでイロハモミジを植えた。 ・奈良県内の村では廃校を活用し、カエデも含めてモミジを2,000種ぐらい植栽することで試験場のようにしている。 ・この半分の1,000種ぐらいをここでも植栽し、「いろんなもみじがあります」ということになれば注目度が高まる。 ・多様なモミジがあれば、研究の立場からでも使っていた可能性があるので、当初の計画を多少変更したほうがよい。 ・会の活動で桜を植えた所も今は「肥料が足りない」など、継続しなければならない取組みもたくさんあるので是非、支援して欲しい。 ・明剣神社には5m以上のイチョウの木も2本ぐらいあり、紅葉も綺麗なので、もう少し整備して公園のように利用できるようにしたらよい。	1. 町内の憩いの場として「志々さくら広場」を活用 花見をしながらカレーを食すイベントを開催(4/10、62名) 2. もみじ管理193名(前年176名) 3. もみじの植栽(約30本)	
			⑧	中期	特産品の開発	・現在、この地域には手土産として持って行くような特産品がない。特産品として豆腐を売っているが、手土産にはならない。この地域には八福神という名前がいいものがあり、角井ではいい福神漬けがあるので、あとは上手くパッケージにすれば手土産になるのではないかな。今後の予定では漬物、豆腐スイーツなど具体的に記載されているが、どのように進めていく段取りになっているのか。 ・ケーキ屋のお菓子は賞味期間が短いので、手土産としては漬物セット、お酒セットぐらいがよい。商工会でも以前から特産品について協議は重ねているが、きちんと販売することが重要であり、この店限定といったことでは良くない。日持ちするお菓子ならよいと思うが、ケーキ屋が志津見にはなく、赤名に1軒あるのみ。	1. ダム貯蔵酒のお披露目(ポピー祭) 2. 秋に2回目の貯蔵を開始(500本) 3. ダムカレーの模擬販売(コスモス祭、88食販売) 4. うぐいす茶屋で飯南高校生によるダムカレーの模擬販売(30食販売) 5. 地域おこし協力隊による特産品開発	

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H27年推進委員会の主要意見	H28実施内容	H28の総括・ポイント
		6. 地域コミュニティの強化	⑨	早期	地域懇親会の開催	・この地区には「わっしょい志々会」もあり、「志々を元気にする会」と共に活発に活動しているが、2つの組織がお互いに調整し、地域が活性化するような組織間の連携を十分に図った方がよい。 ・「わっしょい志々会」は今年3月までという話もあるが、それで終わらせるのではなく継続し、将来に向けて両組織が有効に機能するような方策を講じて欲しい。	1. クラインガルデン歓迎会(4/16、96名) 2. 庵まつり(7/7、231名) 3. 八福神まつり(8/27、350名) 4. 志津見収穫祭(11/19、113名) 5. 昭和少年少女のつどい(2月予定)	
			⑦	中期	七夕祭り		1. ”水辺で乾杯”(7/7、23名)	
		7. 志津見湖のイメージアップ		早期	イメージキャラクターの活用(地域懇親会テーマ)		1. 記者発表などの広報資料等への「くにびきくん」の掲載	
		8. 自然に優しいエコ活動		中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開		1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討	
	Ⅳ. 地域の有する歴史文化の継承	9. 伝えようふるさとの歴史と文化	⑩	早期	食文化伝承レシピの作成		1. 家庭の味まつりの開催(11月26日、85名) 2. コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売	●家庭の味祭は継続し、イベント時には地域伝統食の販売も実施するなど、「食」に関する伝承、活用は維持して行くべきである。 ●「遺物」や「民具」は展示や保管にとどまり、活用が進んでおらず、地域住民の高齢化とともに風化する危険性がある。田舎体験やダム見学会の一部に「遺物」「民具」のプログラムを組込むなど、活用方策を検討する。
				後期	遺物の展示		1. 教育委員会がニチフレ島根横の倉庫に管理している状況を確認(現在、希望制で公開)	
			⑪	早期	民具の展示		1. うぐいす茶屋にて通年展示	
3 人 が 集 ま る ふ る さ と つ く り	Ⅴ. 水源地域のPR	10. 水源地域の修景		中期	サインの設置による水源地域の明示	・志津見の明剣神社の跡はトンネルを出たところに大ガシがあり、ちょっとした階段はつくってもらったが、そこに看板があればなおよい。	1. 水源地域のPR用看板について、元気にする会にて検討(11/16、1/12・31)	●水源地域の明示については、「手づくり見どころ案内板」や「うぐいす茶屋駐車場の看板」と連動して取り組んでいく。
				中期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり		—	
	Ⅵ. 上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	⑫	早期	ポピー祭・コスモス祭開催		1. 巡視体験 2. ダム及び発電所見学会 3. フラワーバレー会場にてパネル展示 4. アンケートを実施し、来訪特性や満足度などを把握(来場者 ポピー祭:約4,800人 コスモス祭:約5,000人)	●ポピーやコスモスはイベント時のシンボルであるが、近年、その生育が良くないため、肥料を増やすなどする。 ●ポピー／コスモス祭でのアンケート調査結果より、「マンネリ化の防止」や「参加型企画への要望」があった。 ●参加型企画としてコスモス祭で行った「そば早食い」は参加者もすぐに定数に達し、盛り上がったので、今後も参加型企画を継続して行っていきたい。 ●イベント会場でのダムブースでは、ポピー祭では降雨体験を実施し、コスモス祭では「ダムの魅力的な風景写真」を掲出するなど、来訪者の興味喚起につながるような展開を実践した。
				後期	野外コンサート		—	
				後期	ナイトバザール		—	
			⑬	早期	志々ファンクラブ		1. フェイスブックによる情報発信 2. ゴールデンウィークの企画として、「ちびっこ集まれ」を実施(5/4・5)	
				早期	シンボルオブジェ作り		—	
3		12. 湖面イベントの開催		早期	湖面巡視体験		1. 湖面巡視体験(ポピー／コスモス祭等で実施)	●イベント時の巡視体験は継続しているが、地域住民向けの体験については、今年度は実施していない。来年度は可能であれば復活させ、以前、要望があった「当時の湖底の状況を思い出すような企画(湖底マップ)」などと連携して行いたい。 ●ラジコンボートの操縦体験は、コスモス祭では前日の降雨の影響で増水したことから当日は中止になった。今後は、実施場所の利便性ととともに、安全性を確保することが重要。 ●昨年度、ラジコンボート一隻が流されて行方不明になったが、約4ヶ月後に発見された。この奇跡的な発見を「奇跡の船」、「沈まない船」として神仏化し、話題づくりのストーリーとして活用するなど、取組の幅が広がっている。
			⑭	早期	カヌー教室(PTA対象)		—	
				中期	カヌー教室(一般対象)		—	
				後期	魚釣り大会	・この地区は谷が深い関係で魚釣りもできず、遊ぶところが全くない。ダムのポート置き場の所が湾になっているが、その周りで釣りができるようになればよい。	1. ポピー／コスモス祭にて「イモリ釣り体験」を実施(76名参加)	
			⑭	中期	ラジコンボートレース大会		1. ポピー／コスモス祭にてラジコンボートの操縦体験	

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H27年推進委員会の主要意見	H28実施内容	H28の総括・ポイント	
人が集まるふるさとづくり	Ⅵ 上下流の交流	13. 志々のみどころ紹介	⑬	中期	手作り見どころ案内板	・志津見の明剣神社の跡はトンネルを出たところに大ガシがあり、ちょっとした階段はつくってもらったが、そこに看板があればなおよい。	1. 元気にする会にて検討(11/16、1/12・31) (今年度13箇所設置予定)	●「手づくり見どころ案内板」の設置を具体的に進めることを目指し、ワークショップ形式で意見を出し合った。	
				早期	マップ(パンフレット)づくり (地域懇親会テーマ)		—	●まち歩き等をする人は、“歴史”や“寺社”などのテーマを持って歩くことが多いので、設置についてもテーマ性に配慮する。	
			⑮	早期	フォトコンテストの開催		1. 年間を通じた募集	●今年度は“八福神”や“史跡”をテーマに13カ所程度を候補とし、今年度設置予定。	
			⑯	追加	志々のみどころ紹介	・ダムサイドの大きな公園は立ち木や東屋があるだけで、夏は暑くて休憩もできない。 ・紅葉を楽しむ時、遊歩道があるとよい。湖を見るとこが できなくても、立ち木の中でもいいので歩道を整備したら 人が来て歩くのではないか。そのような歩道整備は、他のダムでもよくやっている。	1. 志津見ダム上下流公園の歩道整備 2. ダムのフェイスブックを活用した季節情報等の発信	●板面には、本取組が「水源地域ビジョン」の一環であることを認識させるようなプレートを設置する。	
			⑰	追加	水源地域のサイン計画		—	●志津見ダム湖面が見えるように志津見ダムの上下流にある公園に歩道とスロープを設置する。(工事中)	
		14. 田舎ツーリズムの展開	⑱	中期	田舎体験		1. 獅子地区での田舎体験(参加学生14名) (島根大学と連携) 2. 志津見地区での農業体験	●獅子地区では、継続的、かつ若者との交流を目指し、今年度より島根大学と連携することで田舎体験を開始した。	
			15. 他地区との連携	⑲	中期	広域的な連携検討		1. 企業CSRへの招待 2. ホームページでの相互PR 3. うぐいす茶屋の駐車場の看板を活用した広域マップや周辺マップの展開案を検討	●当該地域は三瓶エリアへのゲートウェイであることも意識し、観光客の利便性(道の駅、見どころ、温泉、交通網等)に配慮した情報提供が重要。
									●周辺マップは「手作り見どころ案内板」や「マップづくり」とも連動予定。

志津見ダム水源地域ビジョン アクションプラン 平成28年度 年間スケジュール

[illegible]

【基本方針1：美しいふるさとづくり】

資料①：河川と道路の景観保全活動、グリーンウォーク、草刈り研修会

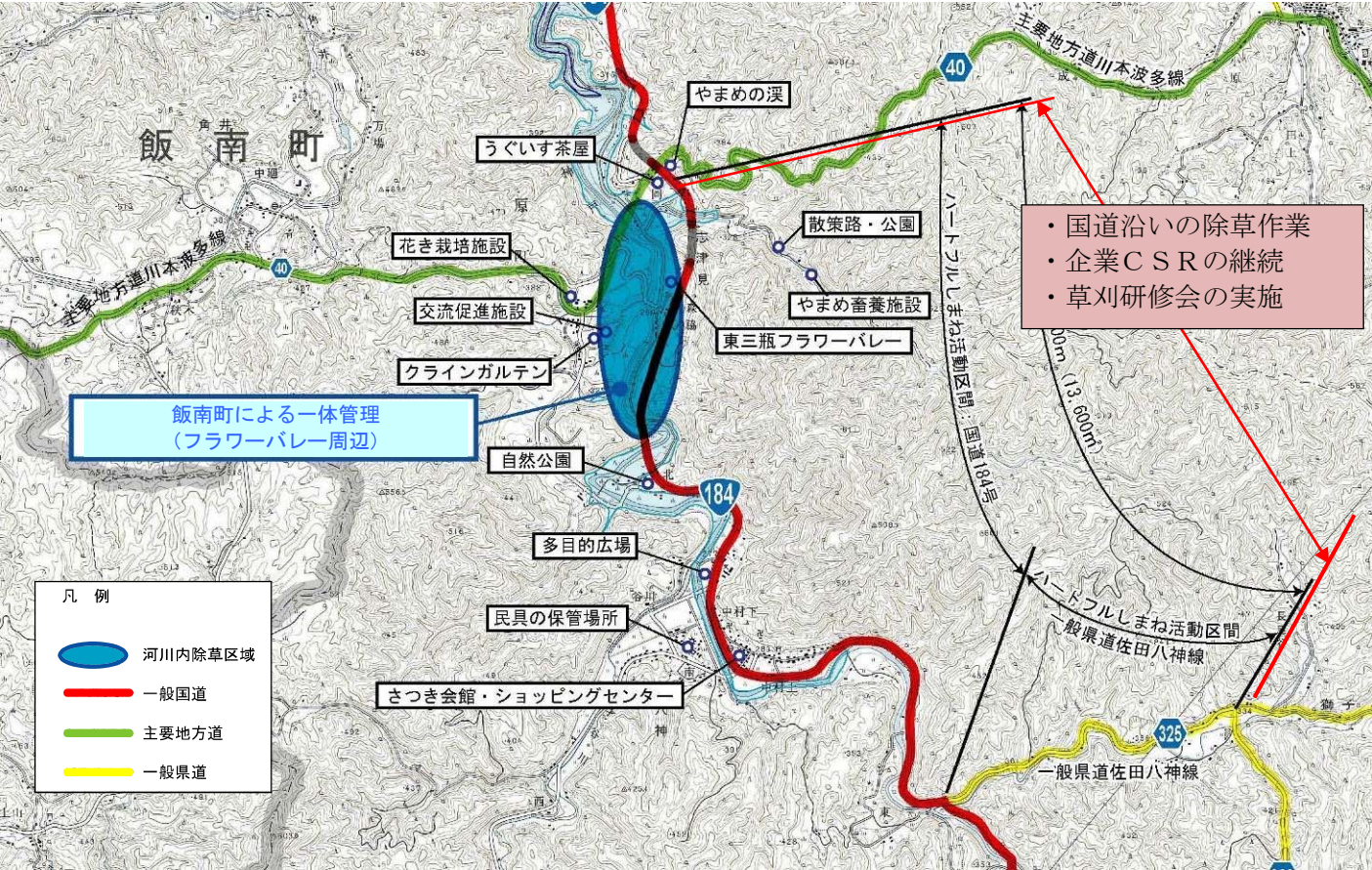
流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

(既存)

取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成						
	場 所	・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道 184 号、県道など						
	内 容	・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾い等の景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(新規取り組み) ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会（イベント的な要素も盛り込む）をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。(新規取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』（「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等）を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。〔志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やこごみを使った山菜弁当で交流会を実施〕(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・「志々の景観を守り育てる会」による国道 184 号、一般県道佐田八神線沿道除草（「ハートフルしまね」として活動 年 2 回の除草、延長 6.8km、面積 13,600 m ² ） ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者（県、国）および道路管理者（県、町）が行う						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①志々の景観を守り育てる会による除草（継続） ②企業C S R の継続実施（継続） ③草刈研修会 男女が参加できる研修会を実施。（継続）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	①フラワーバレー							
	維持管理協定の締結			●	●	●		
	種の購入			●				
	種まき	●	●					
	除草	●	●	●	●	●		国が町に委託
	②フラワーバレー以外							
	河川区域の除草等	●		●	●	●		
	道路区域の除草等	●	●	●	●			

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

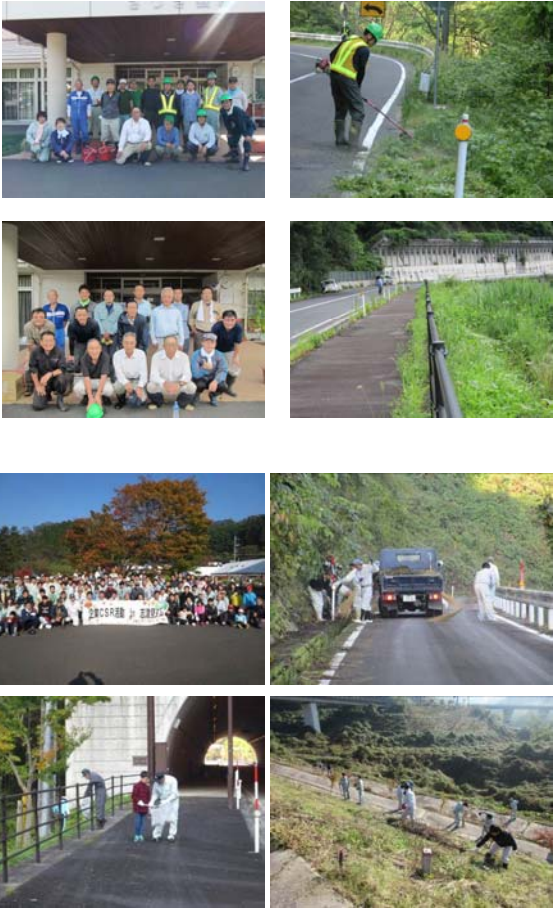


■今年度実施内容

- 志々の景観を守り育てる会による除草（継続）
 - ・実施主体 志々の景観を守り育てる会
 - ・実施日 平成28年6月4日(土)、8月6日(土)
 - ・実施場所 生活拠点施設からうぐいす茶屋までの国道沿い
 - ・助 成 島根県ハートフルロード事業交付金
 - ・実施主体 島根県雲南県土整備事務所
 - ・実施日 同上
 - ・実施場所 国道184号
- 企業CSRによる草刈、ゴミ拾い（継続）
 - ・実施主体 飯南町
 - ・実施日 平成28年11月5日(土)
 - ・実施場所 うぐいす茶屋周辺及び東三瓶フラワーバレー周辺
 - ・参加人数 26団体、112名(過去最多)
 - ・助 成 島根県水源地域環境活動推進事業

【これまでの参加実績】

H24： 7 社、27 名
H25： 5 社、19 名
H26：23 社、73 名
H27：25 社、95 名
H28：26 社、112 名



資料②：牧歌的な風景づくり

(実施時期 中期)

家畜の放牧

(新規)

取り組み内容 (全体)	目 的	・ 水源地域の新たな景観の創出 ・ 家畜を利用した除草等による景観の保全
	場 所	・ 河川敷内
	内 容	・ 牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで新たな河川景観を創出するとともに河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 ・ 家畜は借用するなどして試験的な取組や学習会などから始める。

H28で 取り組む べき事項	① 試行的に実施した牛の放牧の継続 ② 乗馬体験の実施に向けた検討、調整
----------------------	---

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

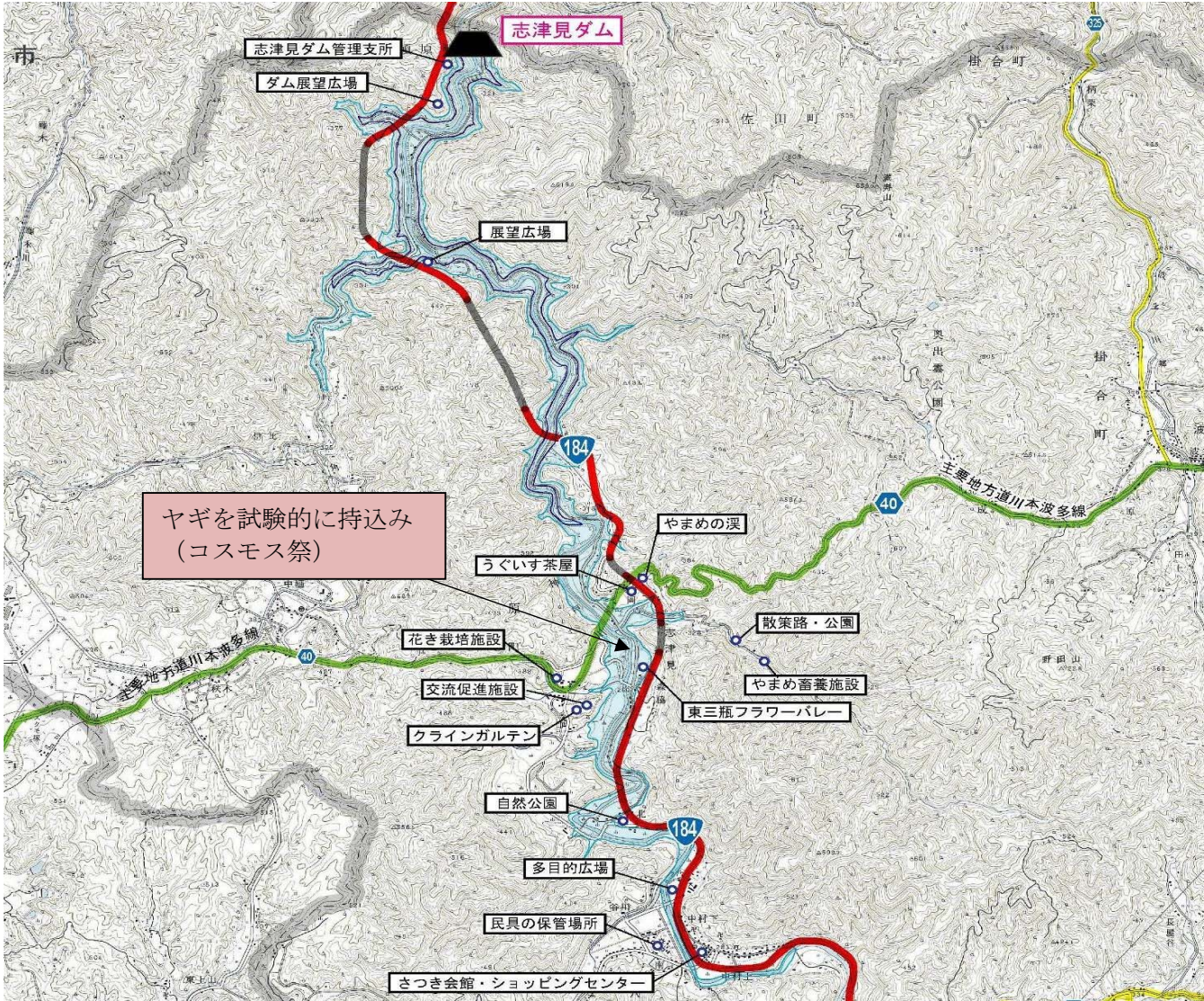
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	牛舎建設位置の調査	●		●				
	放牧の可能性の調査	●		●				
	牛舎の建設	●		●				
	放牧の許可等の検討			●		●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 1. コスモス祭の際、ヤギを畑に持込み、来訪者とふれあう機会を提供
 - 牛の放牧、乗馬体験は実施していない
 - イベントのメイン会場に近いところにヤギがあり、とてもおとなしいことから子供がヤギと触れ合うようなシーンが多く見られた



コスモス祭の際に実施したヤギの持込み

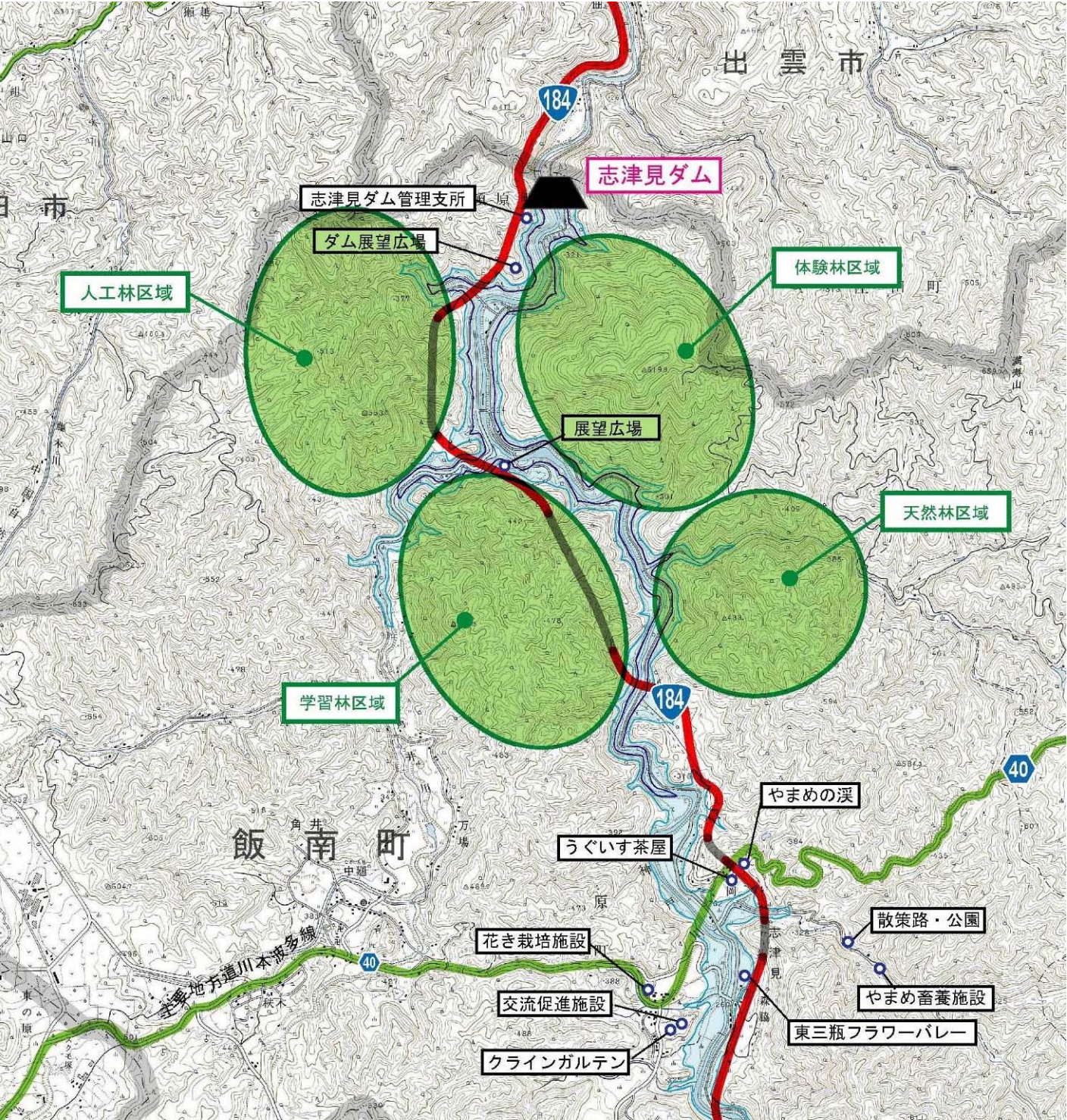
資料③：町有林による景観美化								
(既存) 飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。								
取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観の保全・向上 ・水源地の体験学習林としての活用						
	場 所	・国道 184 号沿いの町有林						
	内 容	・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。(既存取り組み) ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・飯南町による町有林整備（植林整備） ・山林保全の位置づけ （人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域）						
H 2 8 で取り組むべき事項	①環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	企画立案	●		●	●	●		
	林道整備			●				
	整備に関する意見集約	●		●				
	活用に関する意見集約	●		●	●	●		
	取り組み後の P R	●		●	●	●		

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

■参考図（「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成）



- 今年度実施内容
1. 町有林による景観美化について、方向性を検討。

資料④：彩りの森の紅葉をライトアップ

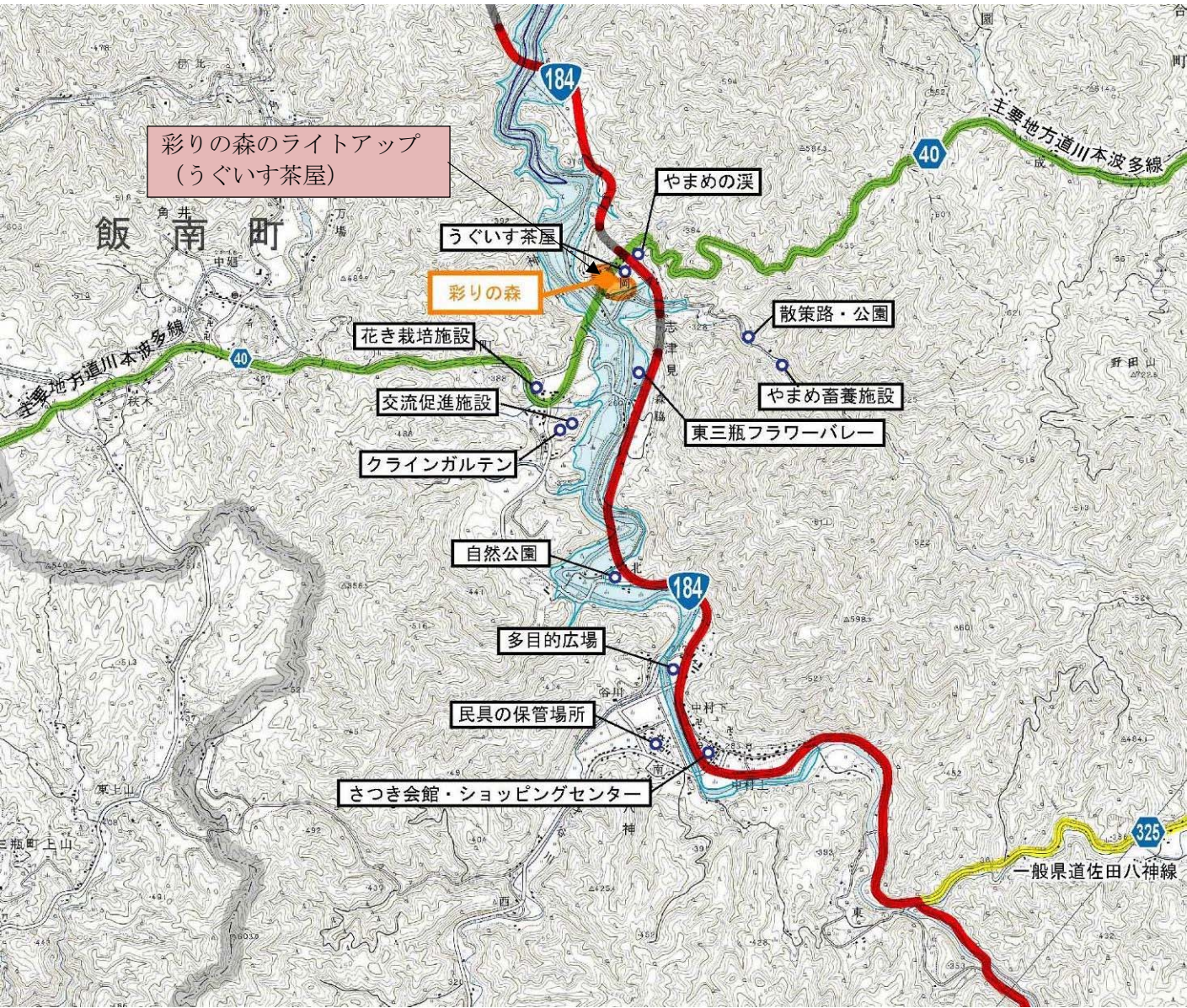
(既存)

既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出						
	場 所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のモミジ植栽地区）						
	内 容	・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森へのモミジの植栽 ・紅葉祭りの開催（11月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10月第2週、日曜日開催）						
H28で 取り組む べき事項	①ライトアップの継続実施（紅葉祭りとの連携） ②志津見ダムとの連携（ダムのライトアップを同時期に実施） ③夜カフェ等の実施を検討 ④他ポイントでのライトアップも検討（点から線的、面的な広がり）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
	資機材の準備			●				
	投光機を設置			●				
	ライトアップの広報、PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 彩りの森ライトアップ(継続)
紅葉まつりの開催にあわせ彩りの森のライトアップを実施(継続)
- ・実施日 平成28年11月5日(土)～11月30日(水)
 - ・点灯時間 17:30～21:00
 - ・実施場所 彩りの森(うぐいす茶屋周辺)
 - ・実施主体 志都の里・飯南町
 - ・助 成 飯南町



彩りの森ライトアップ

2. 志津見ダムとの連携(継続)



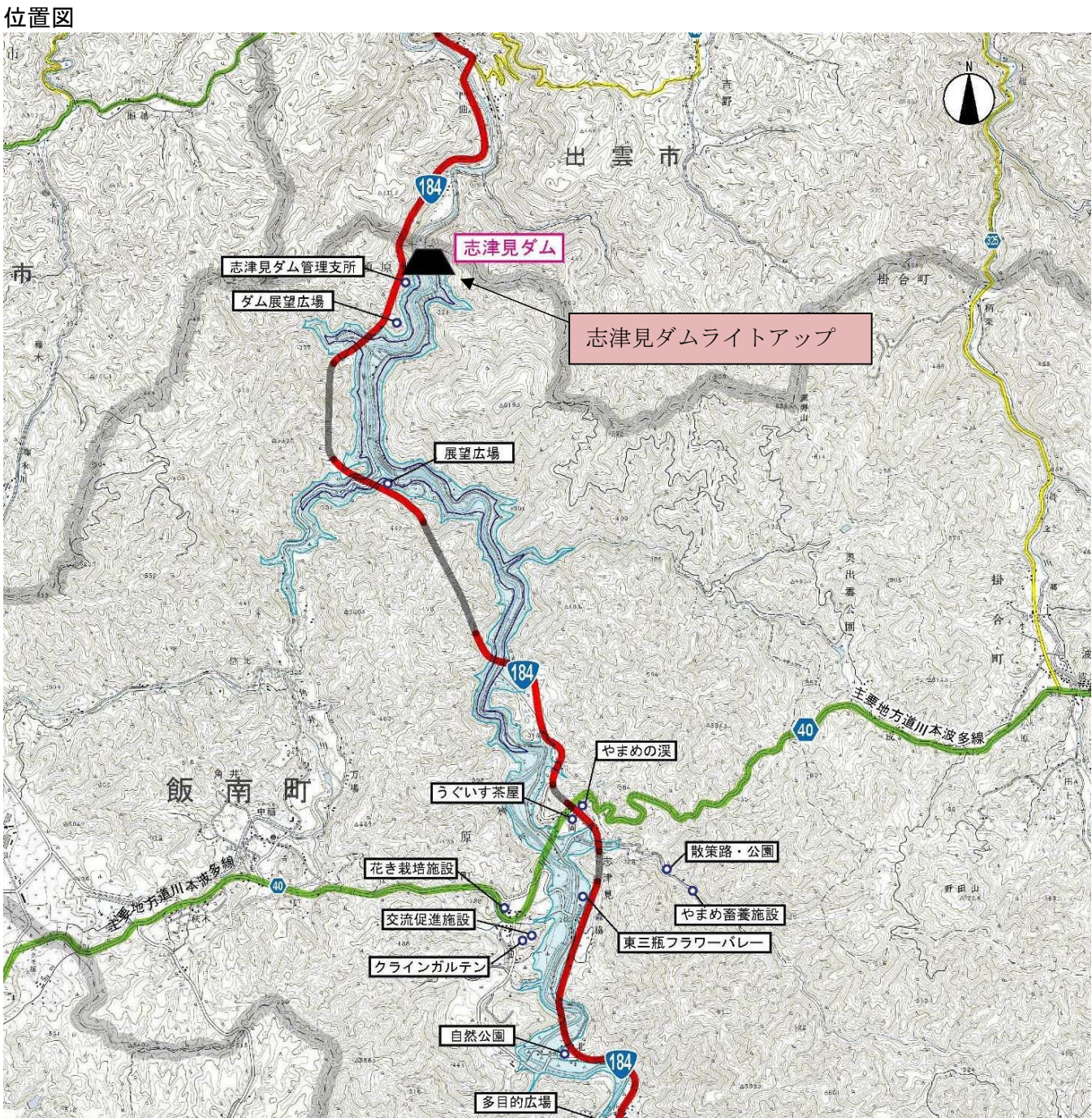
志津見ダムライトアップ



紅葉祭

資料⑤：志津見ダムのライトアップ								
既存の投光機を使用し、志津見ダムをライトアップする。								
取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出						
	場 所	・志津見ダム						
	内 容	・志津見ダムをライトアップしダム周辺の魅力アップを図る（継続） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森のライトアップ						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①彩りの森ライトアップとの連携 ②紅葉時期だけでなく他の季節でも実施することを検討 ③看板等の設置により通行者に対し P R を実施							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ライトアップの企画	●		●	●	●		
	ライトアップの実施					●		
	ライトアップの広報、P R	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容
1. 彩りの森ライトアップとの連携（継続）
彩りの森ライトアップにあわせ志津見ダムの
ライトアップ（点灯試験）を実施（継続）
- ・実施日 平成28年11月5日（土）
～11月30日（水）までの土日祝祭日
 - ・点灯時間 17:30～20:00
 - ・場 所 志津見ダム 堤体



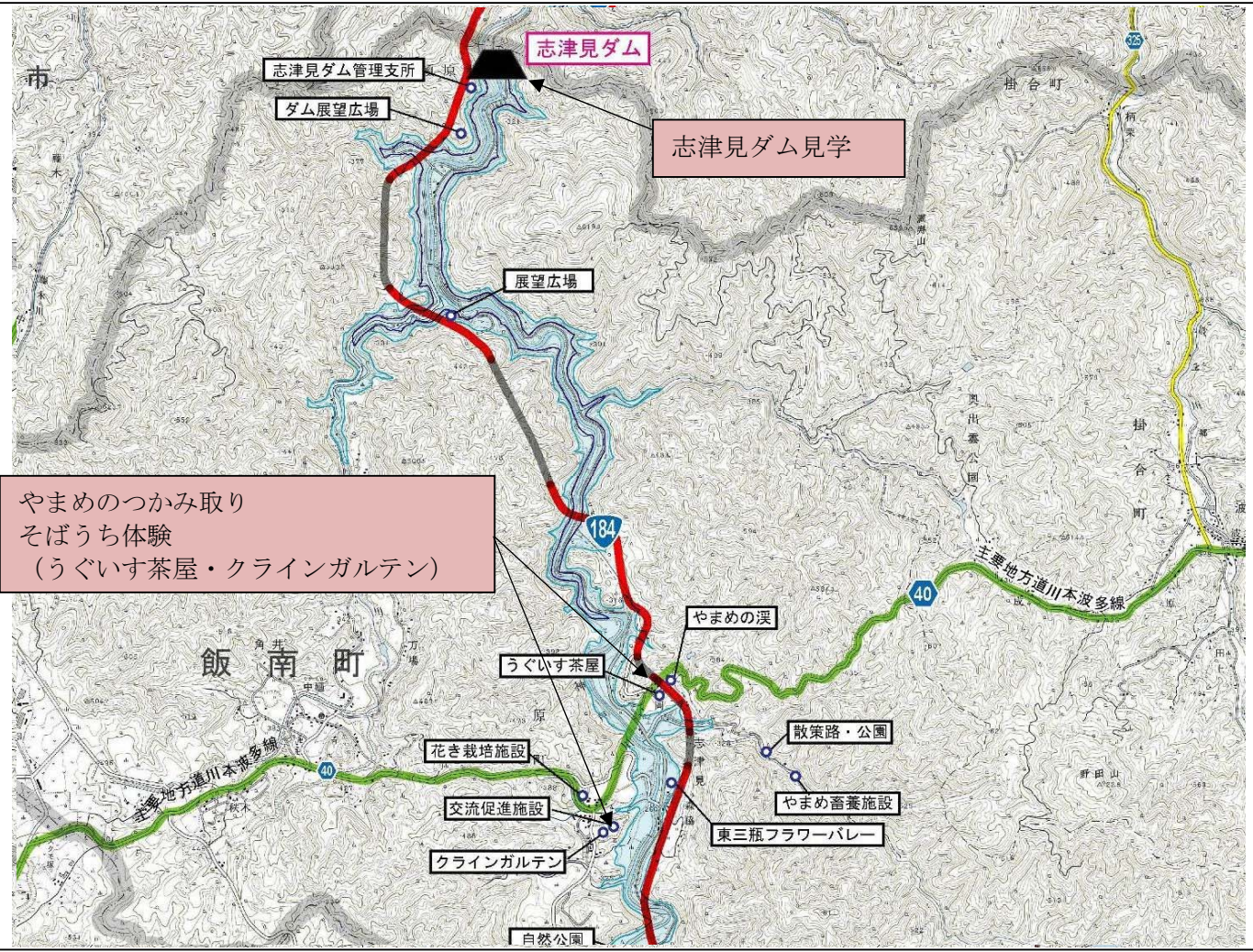
ライトアップ状況

資料⑥：子供向け環境学習会の実施

(既存)		早期で実施していた神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプログラムを組み合わせ、上下流の交流をはかる。						
取り組み 内容 (全体)	目 的	・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成						
	場 所	・神戸川流域						
	内 容	・上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（新規取り組み） ・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（NPO法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011 秋 上下流の6小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校 飯南町八神：志々小学校 3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校 3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校4年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校4年生合同調査（下流） 塩治町：塩治小学校4年生（下流） 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会(2011. 11. 23) 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会						
H28で 取り組む べき事項	①ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 ②下流域住民の参加増を目指す ③川遊びをしながら学ぶような企画を検討							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、PR	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 下流の子供たちがダム見学やそば打ちなどを体験した。
- ・実施日 平成28年7月24日(日)／8月6(土)～8日(月)
 - ・場 所 志津見ダム、うぐいす茶屋、クラインガルテン
 - ・実施主体 JAF、飯南高校
 - ・参加者 54名



ヤマメのつかみ取り



そば打ち体験



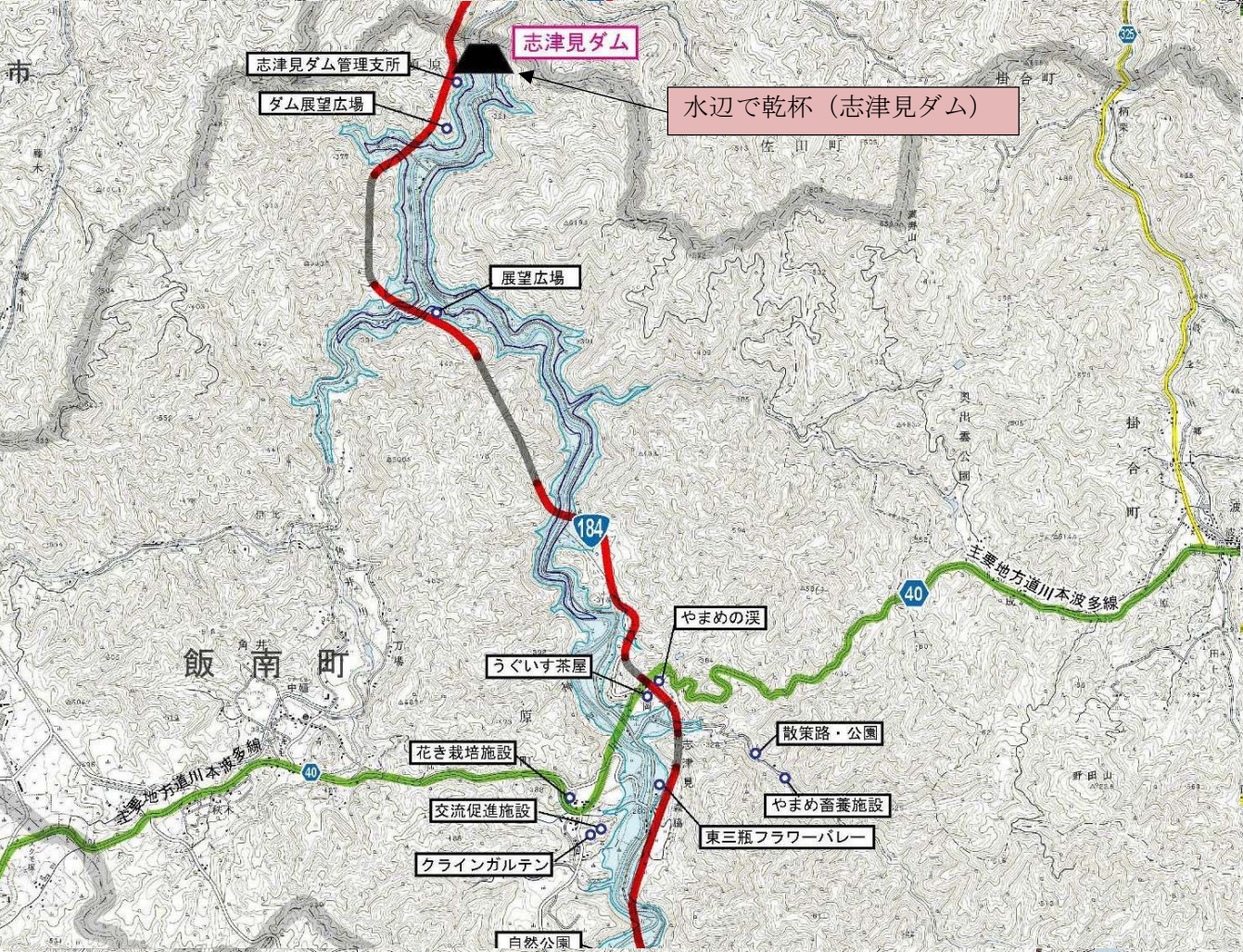
ダム見学

資料⑦：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）

取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の自然環境を利用した環境学習 ・自然体験の場の提供 ・エコロジカルネットワークの形成						
	場 所	・水辺公園エリア（志々小学校前）						
	内 容	・水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。						
H 2 8で 取り組む べき事項	①水辺利用者との意見交換会の継続 ②河床整備、除草等適正な管理を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、P R	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
- 意見交換会の実施
～ 全国的な水辺リングプロジェクトの一環として志津見ダムにて開催した“水辺で乾杯”企画の後、その参加者とともに水辺やダムの活用、可能性について意見交換会を開催
- ・実施日 平成28年7月7日(木)
 - ・場 所 志津見ダム管理支所
 - ・参加者 23名



【基本方針2:明るく元気で豊かなふるさとづくり】

資料⑧：青空市の活性化、特産品の開発

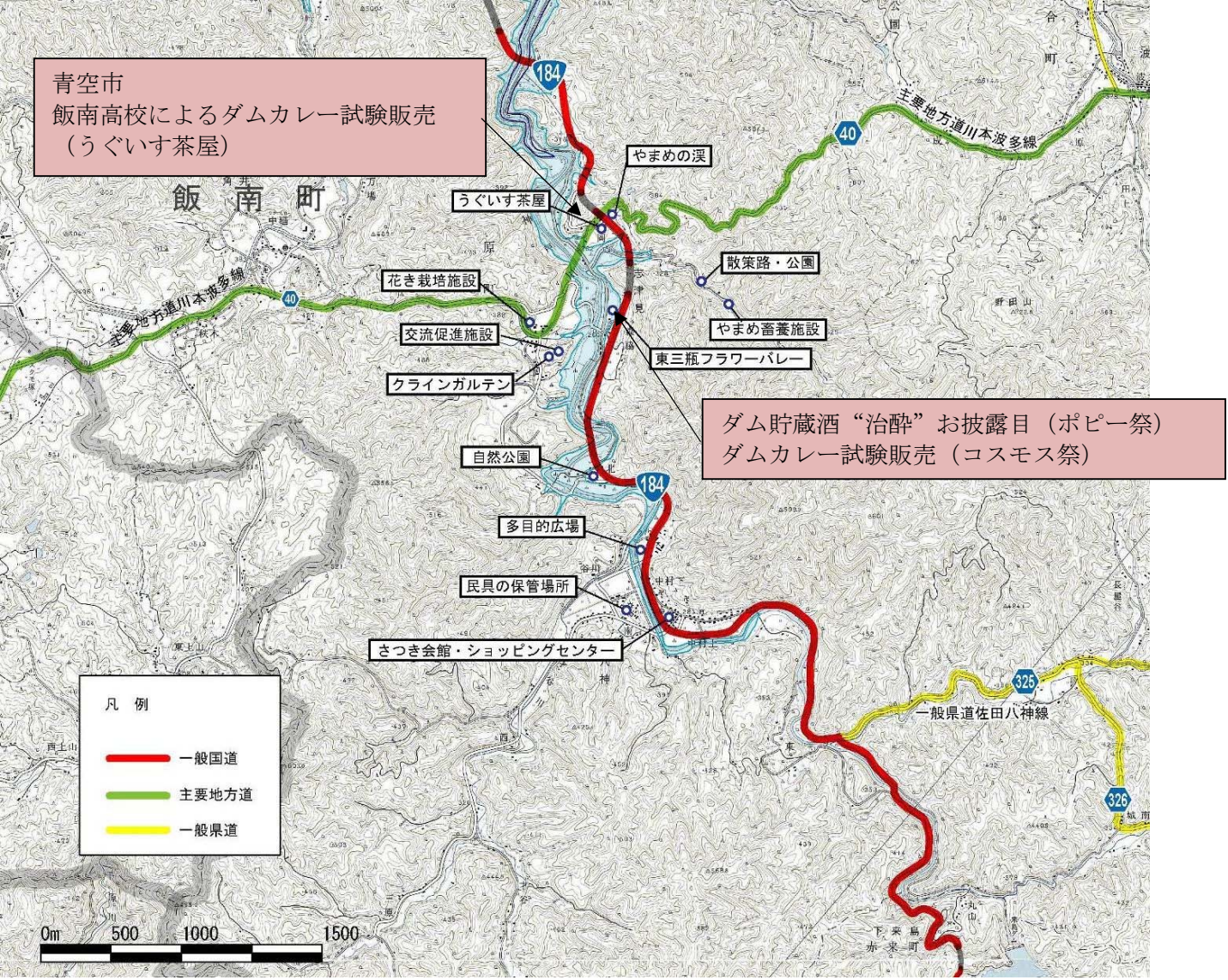
(既存)

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

取り組み内容 (全体)	目 的	・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘						
	場 所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）						
	内 容	・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。(新規取り組み) ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催						
H28で 取り組む べき事項	①販売コーナーの商品を充実させる ②加工品の種類の充実を図る ③ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化を目指した継続実施 ④ダムカレーや漬物など、これまでの成果を活用した試験販売							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	生産から販売までの 仕組みづくり	●		●	●	●		事例研修や勉強会、会場の魅力向上も含む
	生産者の現状把握	●		●				
	出品する農産物の選択	●		●				
	農産物集荷方法の検討	●		●				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
	集客方法の検討	●		●				
	資金の調達手法の検討	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 1. 販売コーナーの商品の充実(継続)
- 2. 加工品の種類の充実を図る(新規)
- 3. ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化
- 4. コスモス祭におけるダムカレーの模擬販売の実施



ダム貯蔵酒のお披露目



飯南高校ダムカレー模擬販売
30 食販売



青空市の状況



ダムカレーの模擬販売
88 食販売

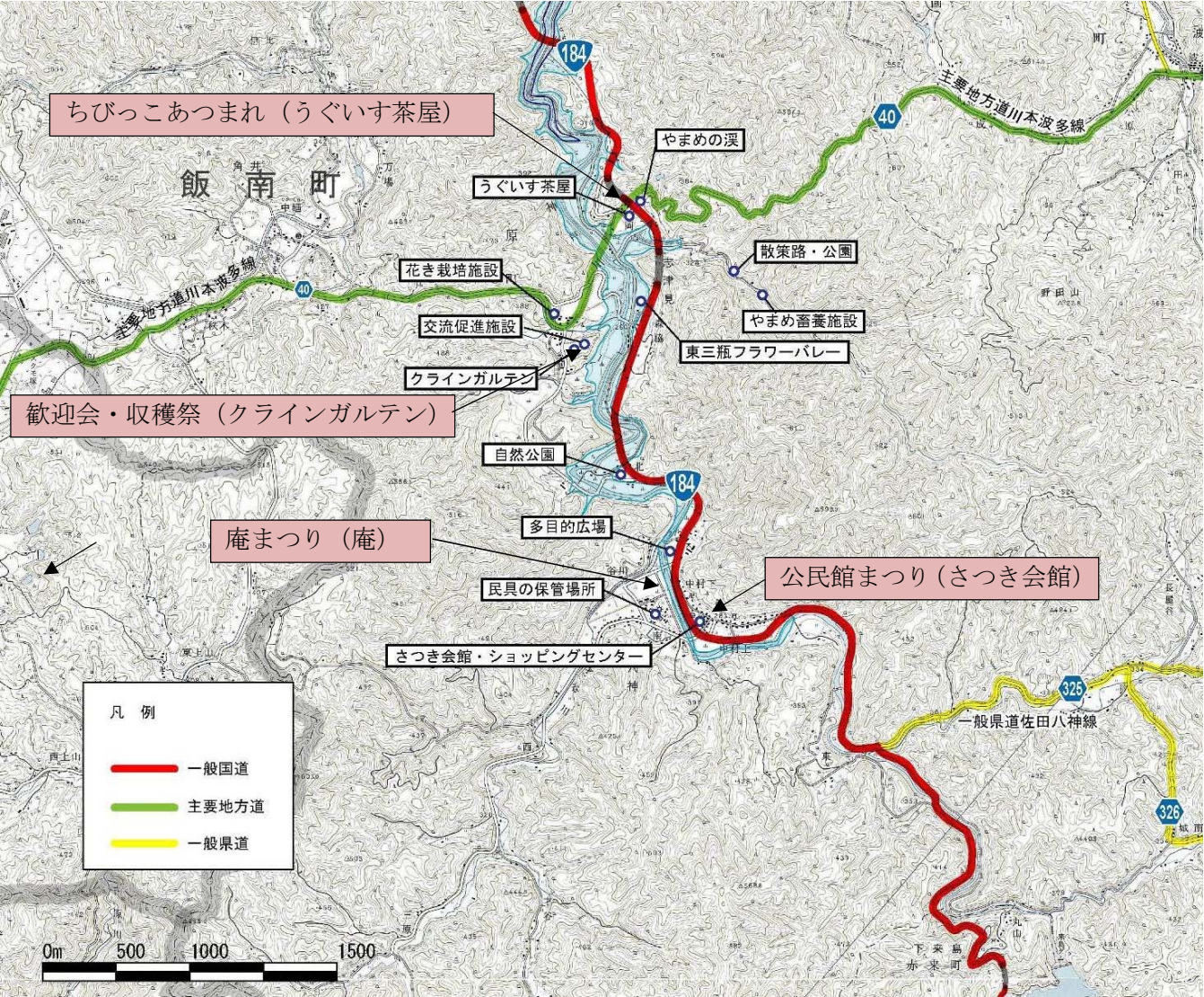
資料⑨：地域懇親会の開催

(既存) 地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 ・ 地域コミュニティの強化 ・ 世代間交流 ・ 情報の共有と連帯感の醸成						
	場 所	・ さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、ダム展望広場						
	内 容	・ 若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。 (新規取り組み) ・ 以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(新規取り組み) ＜意見交換テーマ＞ ①「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 また、自然観察会や家庭の味まつりなどとのタイアップも検討する。 ②「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用（着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイディア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 ③「マップ（パンフレット）づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 志津見ダムのキャラクター　くにびきくん ・ ポピー祭のキャラクター ・ コスモス祭のキャラクター ・ 飯南町のキャラクター　いいにゃん ・ 志都の里　湖畔散策マップ						
H 2 8 で 取り組む べき事項	1. 地区全員が出られる機会をつくる 2. 取組に対する情報共有 3. ダム資源や素材（駐車場など）の有効活用を検討 4. ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	意見交換テーマの設定	●		●	●	●		
	意見交換と意見集約	●		●	●	●		
	会場提供			●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 地区全員が出られる機会をつくり、
取組に対する情報共有やビジョンの認知向上、
理解促進に努めた。
- ・クラインガルテン歓迎会(96名) 4月16日(土)
 - ・ちびっこあつまれ 5月3日(火)
～4日(水)
 - ・庵まつり(231名) 7月9日(土)
 - ・八福神まつり(350名) 8月27日(土)
 - ・志津見収穫祭(113名) 11月19日(土)
 - ・昭和少年少女のつどい **2月実施予定**



ガルデン収穫祭



ちびっこ集まれ



八福神まつり

資料⑩：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

取り組み 内容 （全体）	目 的	・ 地域文化の伝承 ・ 地域の食文化の PR ・ 拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・ 地区の活性化と特産品の発掘						
	場 所	・ 志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋						
	内 容	・ 地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。（新規取り組み） ・ うぐいす茶屋でのメニュー化検討。（新規取り組み） ・ レシピに基づく料理教室の開催。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業） 申請中（地域社会振興財団） ・ 志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①家庭の味まつりを引き続き開催する ②食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討（イベント時など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	助成申請	●		●	●	●		
	家庭の味まつりの開催	●		●				
	レシピ・写真の整理	●		●				
	レシピのPR	●		●	●	●		
	写真集の発行	●		●				
	写真集のPR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 「家庭の味まつり」の継続開催
【家庭の味まつり】11月26日(土)開催
・参加者数 85名（昨年80名）
 2. コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売



家庭の味まつり



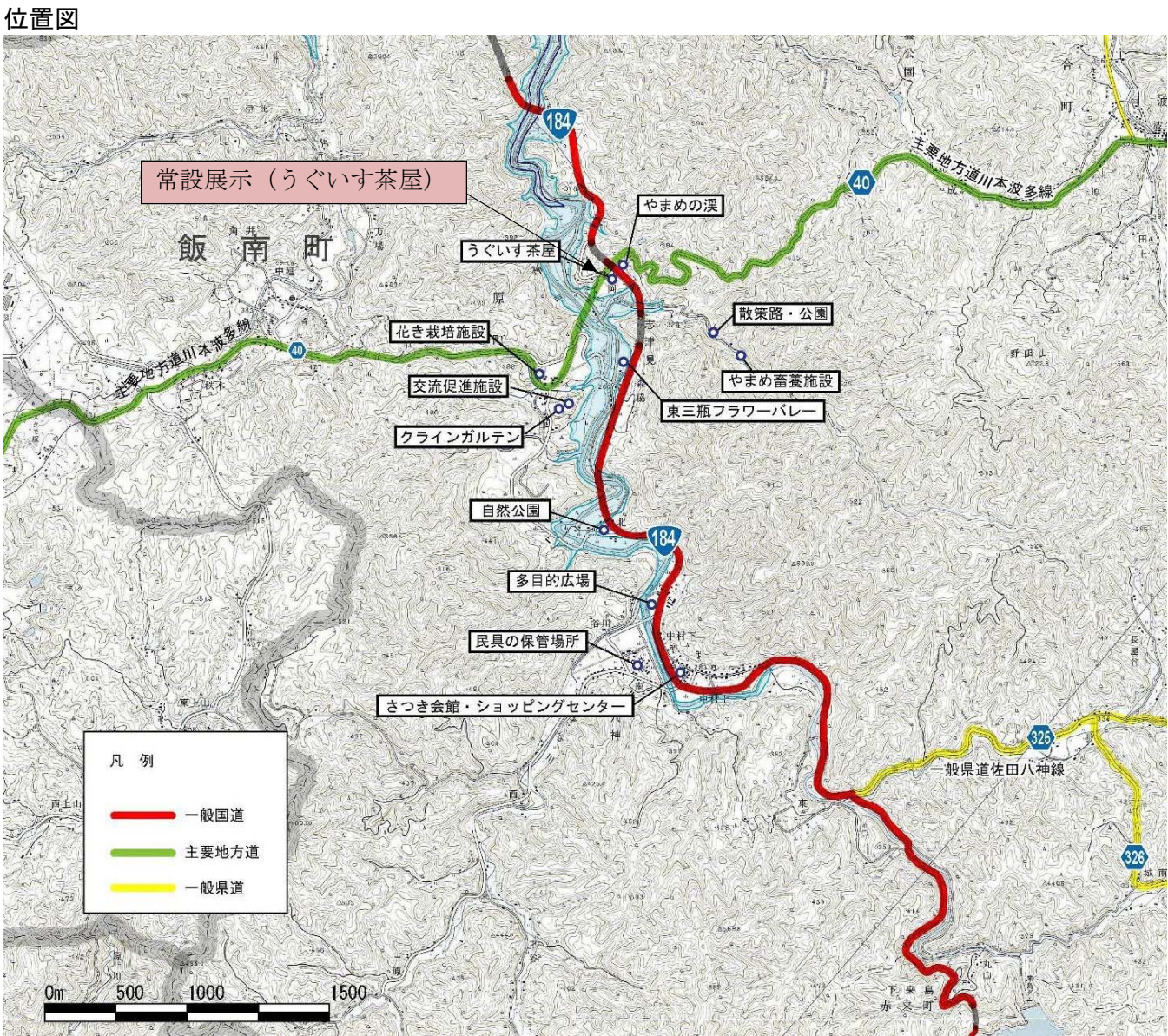
コスモス祭での販売

資料⑪：民具の展示

地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。

取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化の PR						
	場 所	・うぐいす茶屋、フラワーバレーエリア、志津見ダム管理支所、さつき会館（志々公民館）など						
	内 容	・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） ・さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ・ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①うぐいす茶屋で引き続き展示 ②イベント等での展示を行う（民具の実演等展示に工夫）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	①うぐいす茶屋等 常設展示							
	常設展示の企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
	民具の搬入・設置	●		●				
	②イベント開催時の展示	●		●				
	イベント展示の企画	●		●	●	●		
	民具の搬入・設置・撤去	●		●				
	民具の管理	●		●				
	③民具の展示の P R	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



■今年度実施内容

1. うぐいす茶屋での常設展示



2. イベント等での展示を行う（民具の実演等展示に工夫） → 実施なし

【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

資料⑫：ポピー祭・コスモス祭開催

(既存)

これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（新規取り組み）や、ダム見学、発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会						

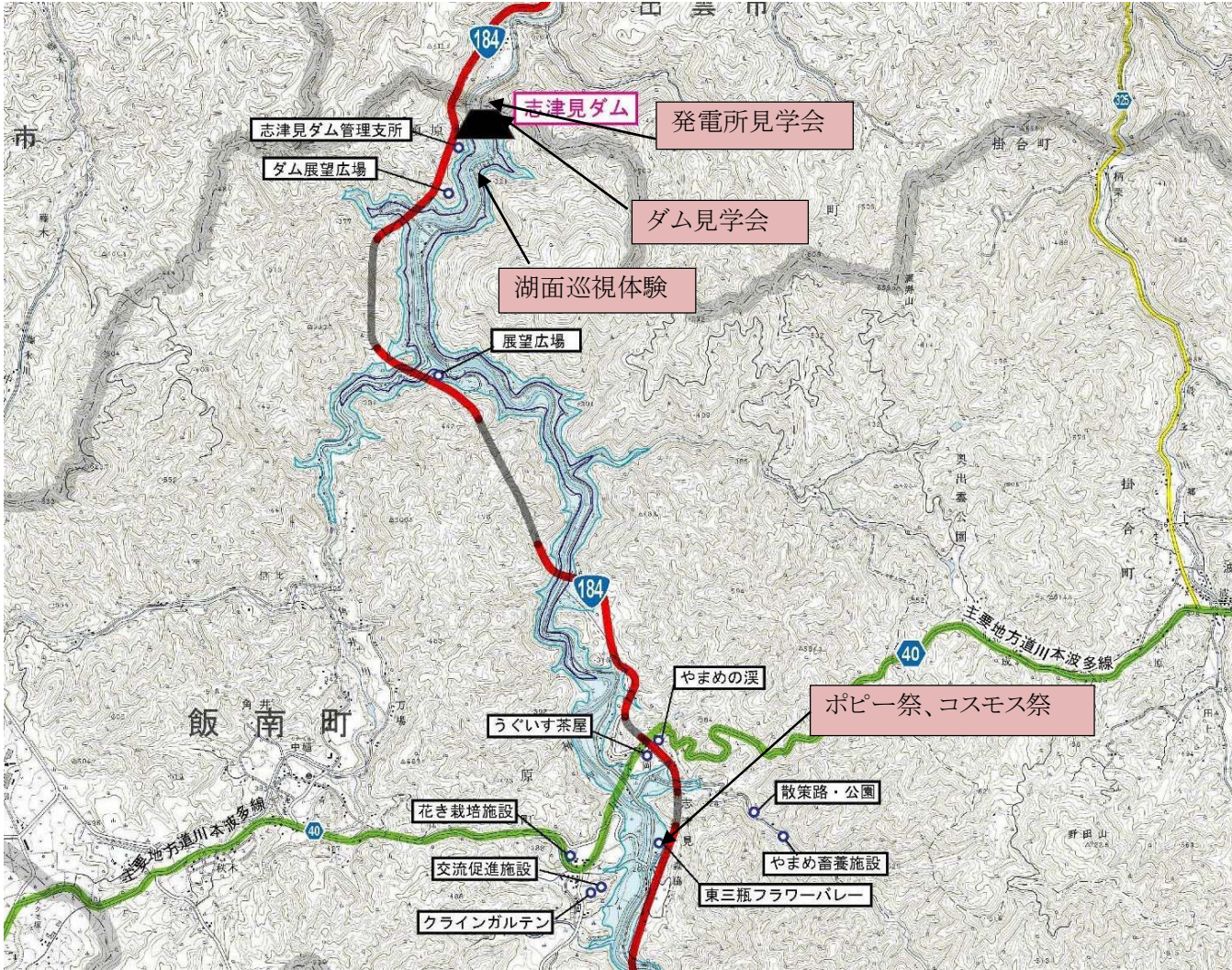
H 2 8 で 取り組む べき事項	①ダム見学会、巡視体験等引き続き実施（継続） ②地元住民向け巡視体験会の継続（継続） ③イベント自体のマナー化の防止（参加型企画等の検討、実施）（継続） ④マーケティングを実施し来場者特性やイベントの満足度などを計測（継続）							
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
------	--------------------	--	--	--	--	--	--	--

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	湖面巡視体験の実施			●	●	●		
	ダム見学会の実施			●	●	●		
	発電所見学会の実施			●	●	●		
	集中豪雨に関する展示 降雨体験機による体験					●		パネル等の展示
	イベントの広報・PR	●		●	●	●		
	ビジョンのPR	●		●	●	●		パネル展示

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容(ポピー祭、コスモス祭において実施)

【入り込み実績】ポピー祭 / コスモス祭	
H23	3,000 人 / 5,000 人
H24	4,000 人 / 5,000 人
H25	6,000 人 / 5,500 人
H26	4,500 人 / 5,500 人
H27	5,500 人 / 5,000 人
H28	4,800 人 / 5,000 人



ポピー祭



コスモス祭



ダム巡視体験（イベント時）



来訪者アンケート



参加型企画
そばの早食い大会

資料③：志々ファンクラブ（仮称）

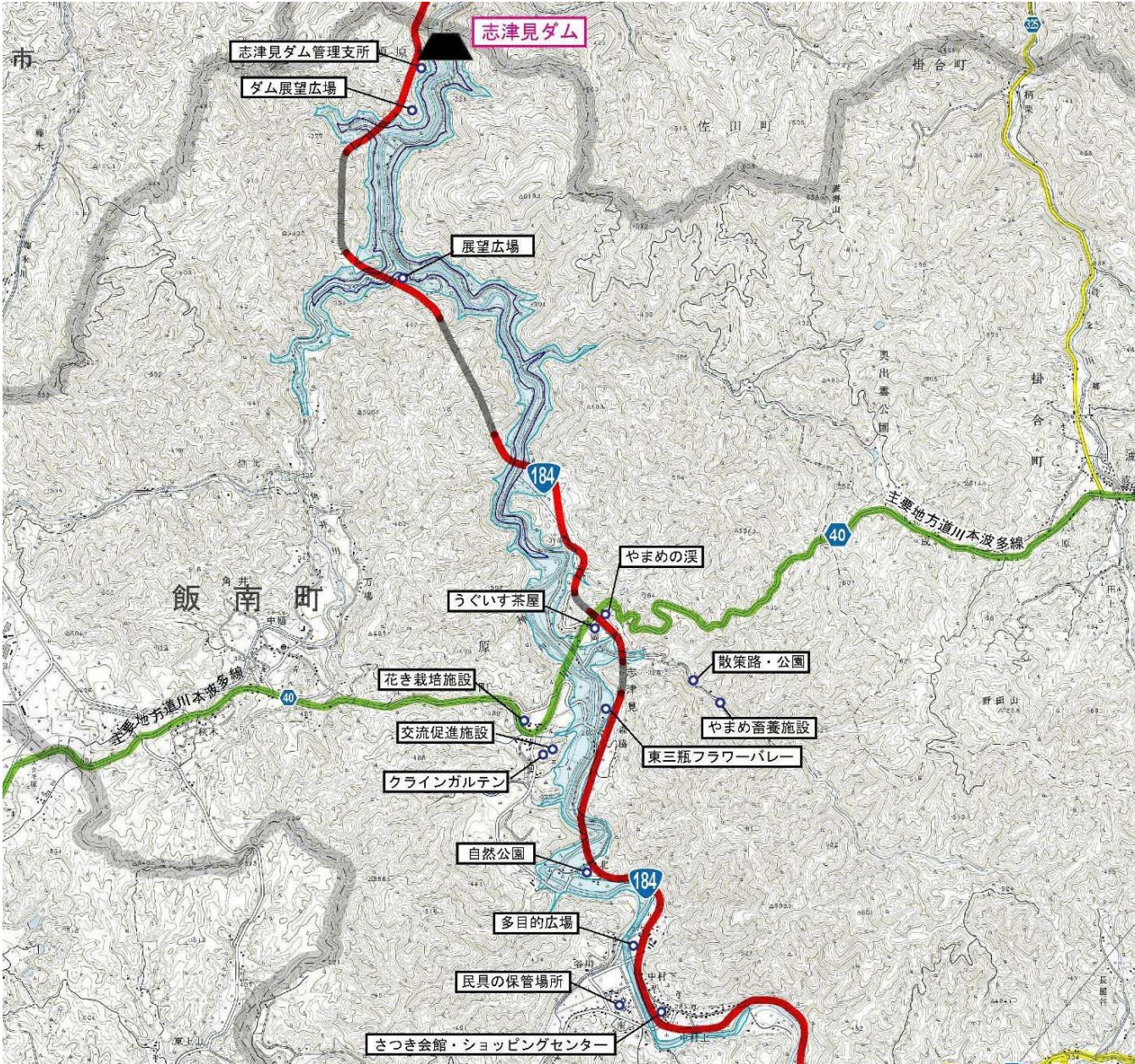
(新規)

クライנגルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・水源地域						
	内 容	・クライנגルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。(新規取り組み) ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。(新規取り組み) ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。(新規取り組み) ・他のファンクラブとの連携も検討する。(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①積極的な情報発信の実施 ②会員の具体化の検討を行う（若者や愛好家の参加促進）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	志々ファンクラブの企画	●		●	●	●		
	志々ファンクラブの結成	●		●				
	ネットワークの構築	●		●				
	名簿の収集	●						
	志々ファンクラブの PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容

1. フェイスブックの活用を中心に

積極的な情報発信方法を実施



フェイスブック

資料⑭：カヌー教室・ラジコンボートレース大会

カヌーやラジコンボートなど、フラワーバレー周辺の湖面の活用を検討し、実施する。

(新規)

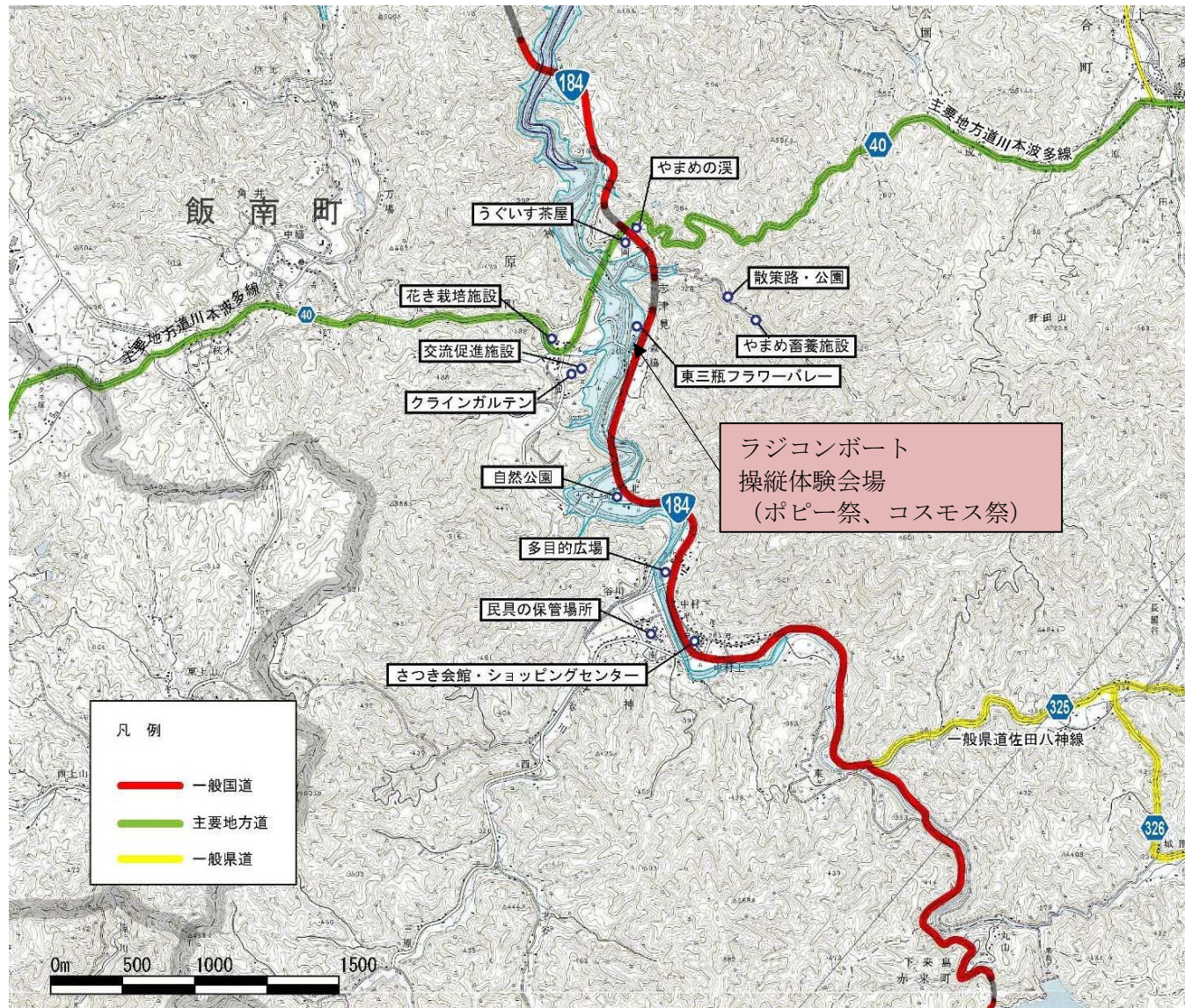
取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・PTA 等を対象に実施したカヌー教室を、フラワーバレーエリアで新たに開催する。（新規取り組み） ・ラジコンボートの愛好家が集い、レースと楽しむようなイベントを開催する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ H17～18 年の 2 年ほど、志々小学校 P T A を対象にプールで実施 ・ 美郷町カヌーの里との連携検討						
H 2 8 で 取り組むべき事項	①ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	カヌー教室の企画	●		●	●	●		
	カヌー教室の講師選定	●		●	●	●		
	資機材調達	●		●	●	●		

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. カヌー教室の開催 → 未実施
 2. ラジコンボート操縦体験の実施（ポピー／コスモス祭と同時開催）



ラジコンボート操縦体験（ポピー祭）



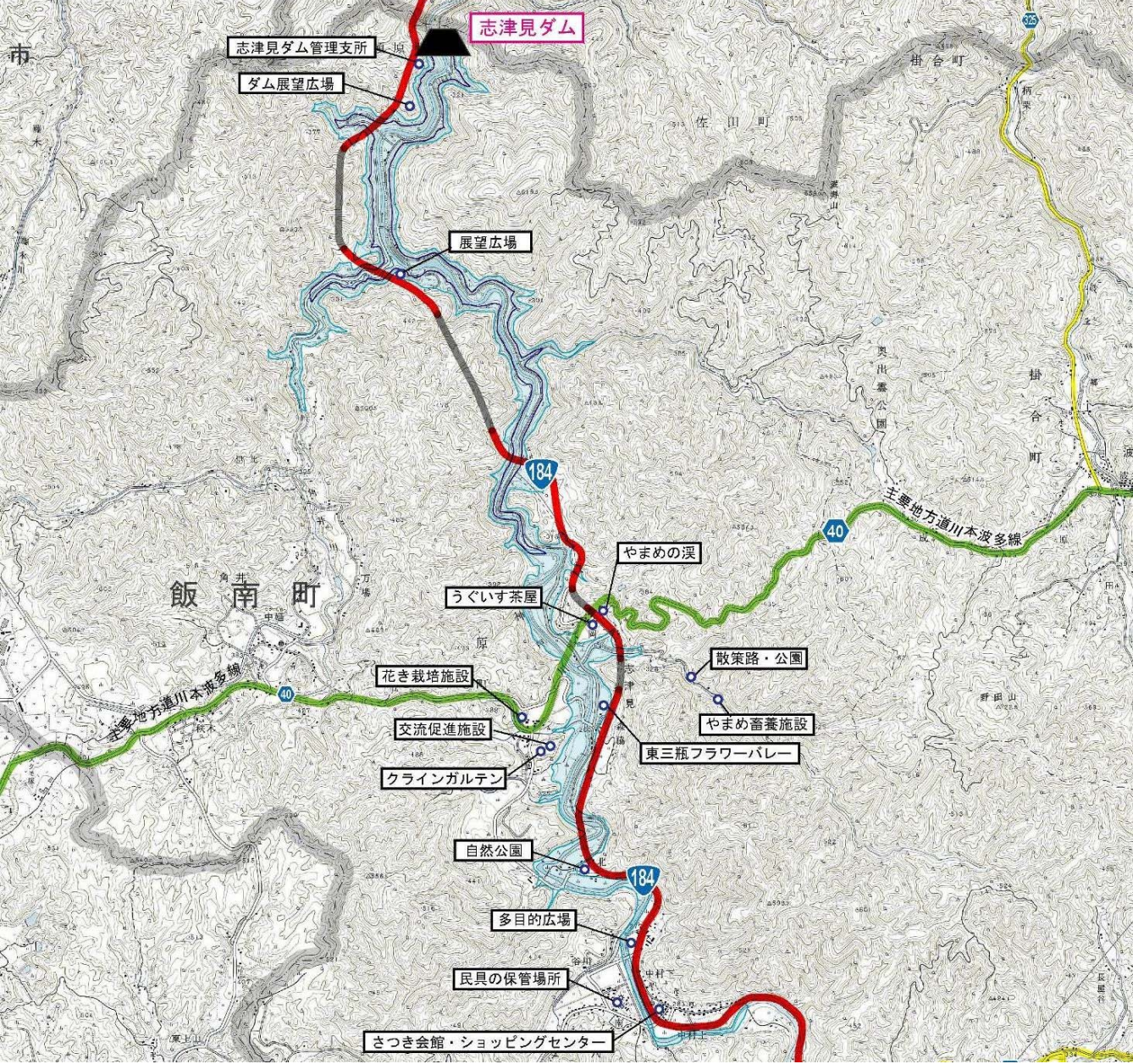
ラジコンボート操縦体験（コスモス祭）
※増水により中止

資料⑮：フォトコンテストの開催

(既存)		ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。						
取り組み内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 景観フォトコンテスト ・ イベントにあわせたフォトコンテスト ・ いーなんの雪携帯フォトコンテスト						
H 2 8 で 取り組む べき事項		① 年間を通した募集を引き続き行う（継続）						
実施主体		志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会						
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	コンテストの企画	●		●	●	●		
	コンテストの実施			●				
	コンテストの広報・PR	●		●	●	●		
	作品審査	●		●	●	●		
	賞品準備	●		●	●	●		賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 年間を通した募集を引き続き行う
(募集期間:2016 年 6 月～2017 年 1 月)



【H27年受賞作品】



＜い～にゃん賞＞



＜志津見湖賞＞



＜東三瓶フラワーイベント賞＞



＜飯南町トータルサポート賞＞

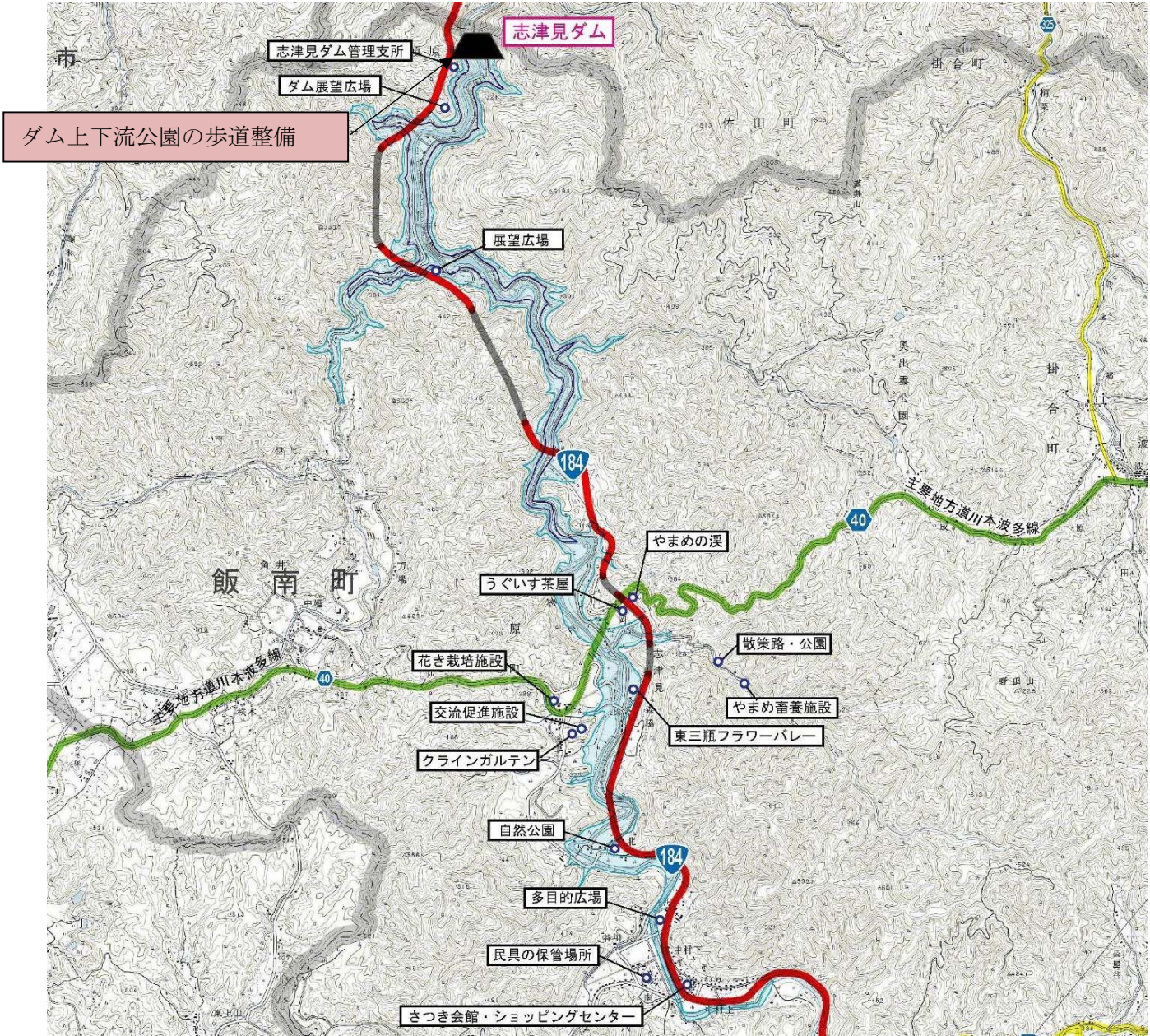
資料⑯：手作り見どころ案内板・志々のみどころ紹介

(新規)

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・ 周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・ ダムのビューポイントの整備とP R						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①志々地区内の史跡の手作りによる案内板の作成、設置 ②他ダムとの連携（周辺ダムの紹介） ③ダムのビューポイントの整備と紹介							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ダムHPのアイデア	●		●	●	●		
	ダムHPの改良					●		
	周辺ダムとの連携方策の 検討	●		●	●	●		
	ダムのビューポイントの 整備				●	●		
	広報			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 元気にする会における手作り案内板の検討(見どころ、ビューポイント等の確認、11/16、1/12)



元気にする会での検討風景



元気にする会でのとりまとめ結果

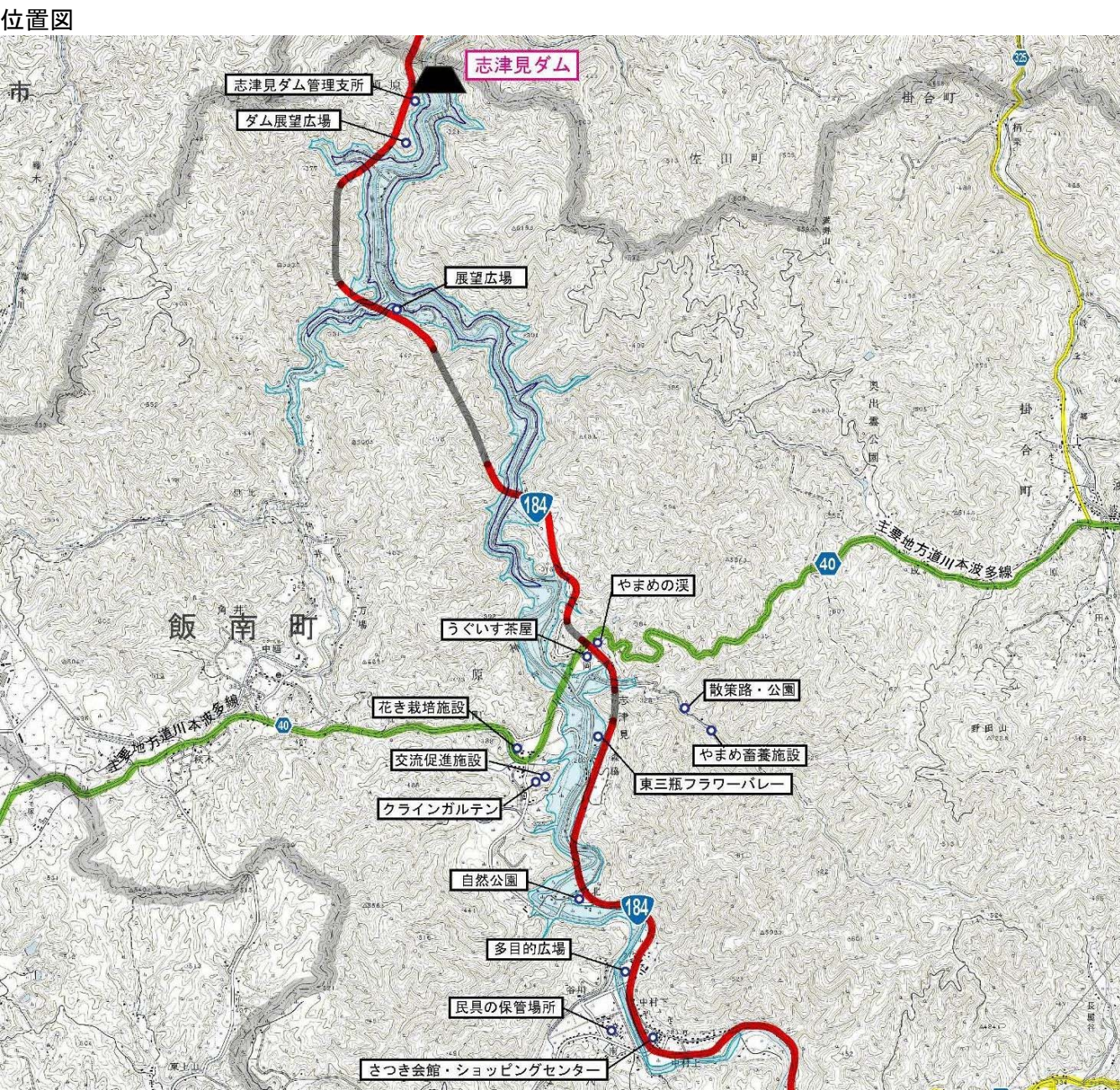
2. ダムのビューポイントの整備と紹介

→ ダムの上下流にある公園にダムを展望できるように小高い山や歩道及びスロープを整備

資料⑦：水源地域のサイン計画

(新規)								
取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 水源地域の位置を発信						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 周辺施設（道路）から志津見ダムへの案内看板の計画と設置						
H 2 8 で 取り組む べき事項	①地域懇談会、元気にする会等でサイン計画の検討を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	案内看板の計画策定	●		●	●	●		

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 検討内容
- ・ 尾道松江線を含めた周辺施設からの、志津見ダムへの案内看板計画の検討
「元気にする会」等での意見交換、アンケート調査、現地視察等を実施し検討していく。
具体的な進め方は下記のとおり
1. 志津見ダムへの誘客を促進するために設置する案内看板を検討するにあたり、対象とする範囲とそのルートの設定を行う。
 - ① 志津見ダムへのルートの設定
 - ② 既存の案内標識の整理
 2. 案内標識の新規設置案の作成を行う
 - ① 設定したルート上で曲がり角など利用者が迷いやすいポイントを検討し、案内標識を追加・更新すべき箇所を設定する。

資料⑱：田舎体験

(実施時期 中期)

地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

(既存)

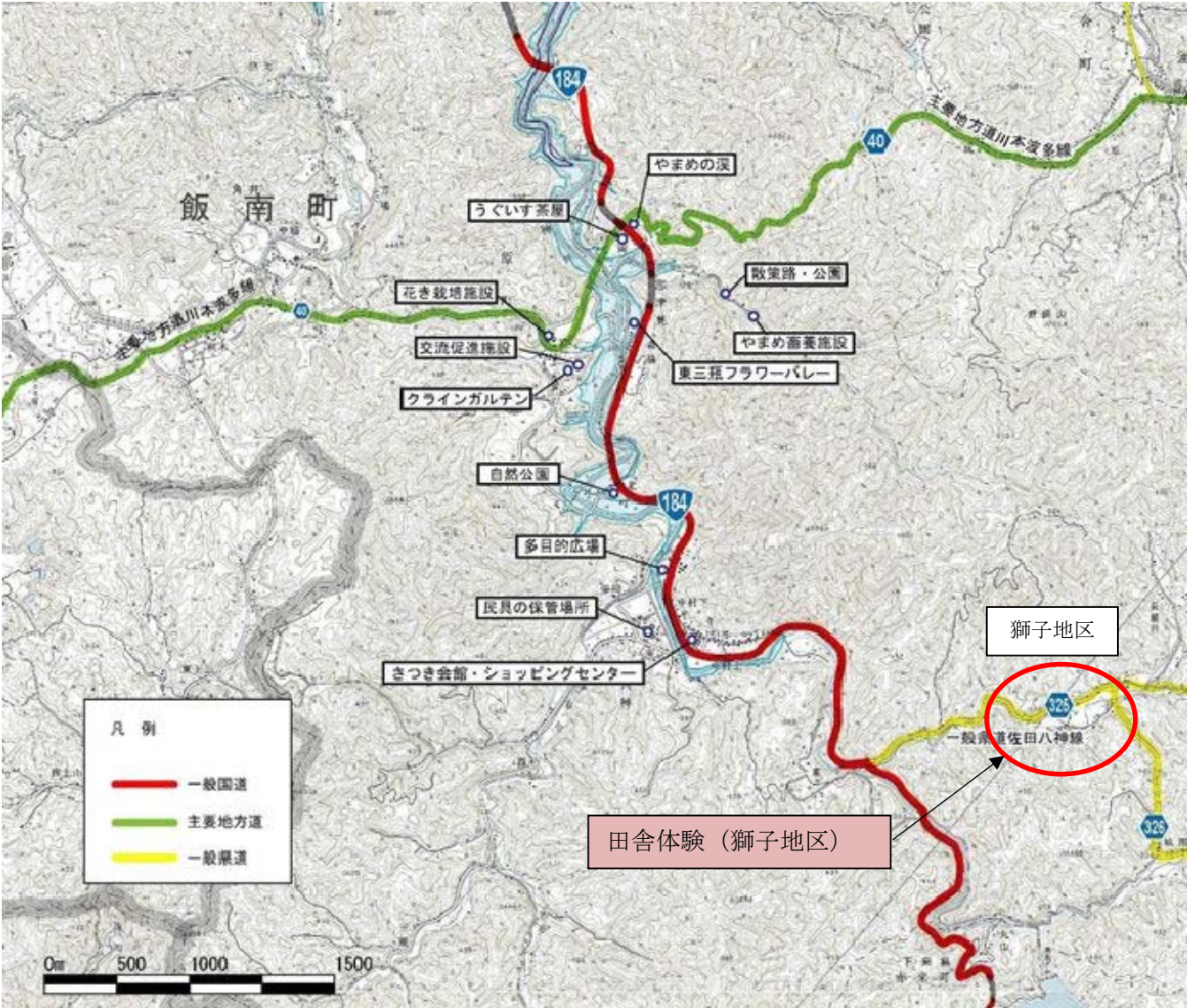
取り組み内容 (全体)	目 的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進
	場 所	・島根県中東部
	内 容	・水源地域の生活や文化を体験しつつ、ダムへの理解促進を図るようなツアーの開催 【他のアクションプランとの連携】 ・子供むけ環境学習会の実施 ・ダム見学 ・上下流交流 等との連携

H 2 8で 取り組む べき事項	①田舎体験プログラムの他地区展開
------------------------	------------------

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会						
	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容
実施項目 と 役割分担	ツアーの企画						ダムの魅力発信
	ダム見学の計画・実施			●	●	●	
	広報、P R			●	●	●	

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 獅子地区における島根大学生との田舎体験交流の実施
- 田植え、草刈り、稲刈りと一連の農作業を定期的に体験
- 懇親会などで地域の人との交流も深め、大学生は自分の研究テーマとして当該地区を調査
- 地元の住民からは、次年度の継続実施を望む意見が多数



田植え体験



草刈り体験



稲刈り体験

資料⑱：広域的な連携検討（実施時期 中期）

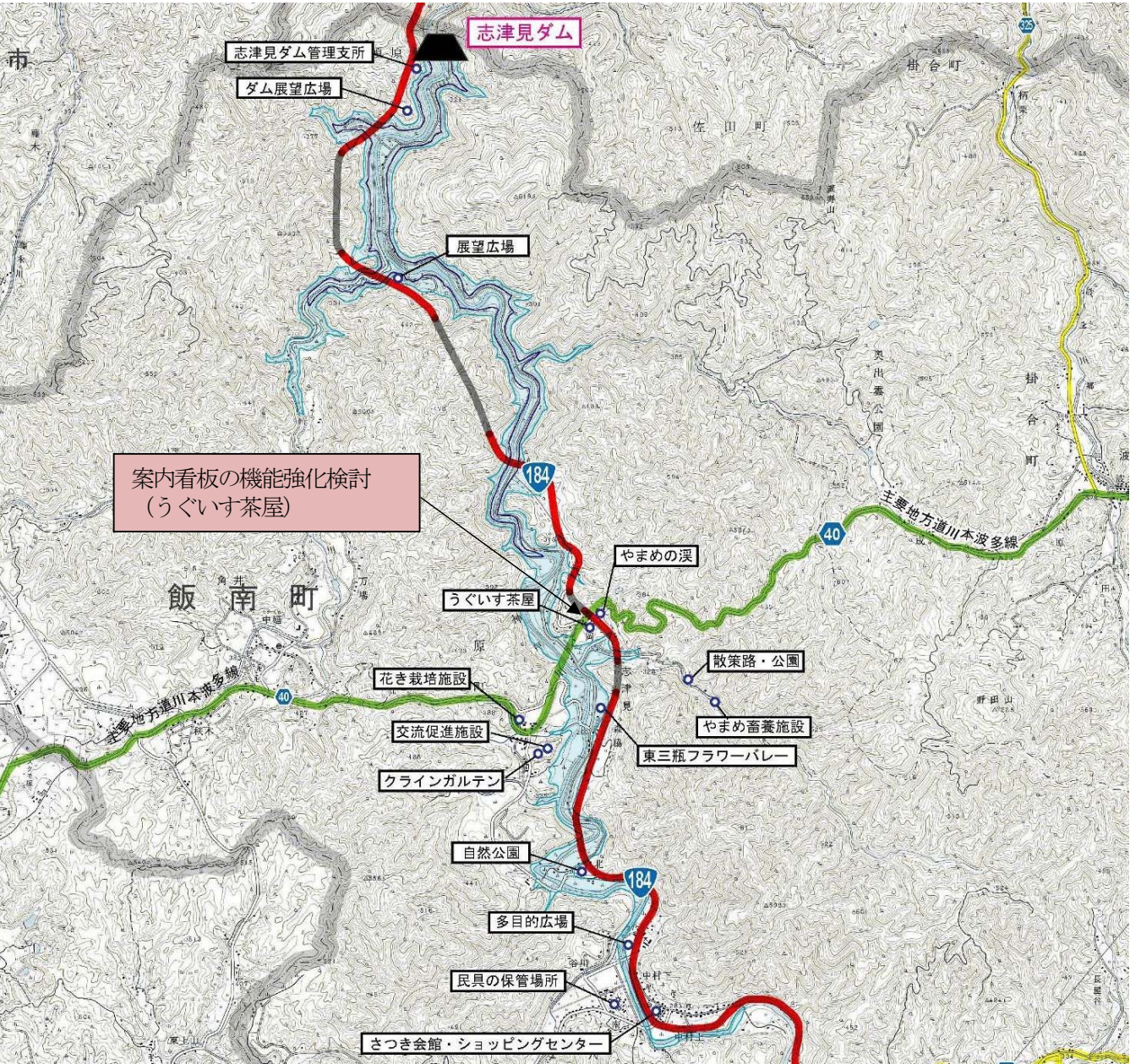
他地区との連携を検討する。

(既存)

取り組み 内容 (全体)	目 的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進						
	場 所	・島根県中東部						
	内 容	・三瓶山（三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル）や石見銀山、出雲市（佐田地区）、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くPRする。 【他のアクションプランとの連携】 ・ 河川と道路の清掃活動 ・ 水生生物調査 ・ ポピー・コスモス祭り 等との連携						
H28で 取り組む べき事項	①周辺地域（三瓶山周辺）への志津見ダムのPRを行う ②斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流は引き続き行う ③広域観光の結節点としての機能強化（情報提供など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	イベントの企画	●		●	●	●		
	イベントの運営	●		●	●	●		
	広報、PR			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

1. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)
 →三瓶方面の入口になる「うぐいす茶屋」の駐車場にある大型看板に対して、元気になる会にて広域観光マップ化やその図案について検討・協議した。



板面のデザインの検討（左：流域マップ、右：広域マップ）